

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第1区分
 【発行日】令和6年4月15日(2024.4.15)

【公開番号】特開2023-86(P2023-86A)
 【公開日】令和5年1月4日(2023.1.4)
 【年通号数】公開公報(特許)2023-001
 【出願番号】特願2021-100704(P2021-100704)
 【国際特許分類】

G 0 1 P 1 5 / 0 8 (2 0 0 6 . 0 1)

G 0 1 P 1 5 / 1 2 5 (2 0 0 6 . 0 1)

H 1 0 N 3 0 / 3 0 (2 0 2 3 . 0 1)

H 1 0 N 3 0 / 8 7 (2 0 2 3 . 0 1)

【F I】

G 0 1 P 1 5 / 0 8 1 0 2 E

G 0 1 P 1 5 / 0 8 1 0 1 B

G 0 1 P 1 5 / 1 2 5 Z

H 0 1 L 4 1 / 1 1 3

H 0 1 L 4 1 / 0 4 7

10

20

【手続補正書】

【提出日】令和6年4月5日(2024.4.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

互いに直交する3軸をX軸、Y軸、及びZ軸としたとき、
 前記Z軸に直交し、固定電極が設けられている基板と、
 前記Z軸に沿ったZ軸方向において前記固定電極に対向し、前記Z軸に直交し、互いに
 表裏の関係にある2つの平面、及び前記2つの平面を繋いでいる側面を含み、前記X軸に
 沿った揺動軸を中心として前記基板に対して揺動可能に設けられている可動体と、
 を含み、

30

前記可動体は、前記Z軸に沿ったZ軸方向からの平面視で、
 前記揺動軸に対し、所定の角度で配置されている第1延出部と、
 前記第1延出部と対向して配置されている第2延出部と、
 を含む、慣性センサー。

【請求項2】

請求項1において、

前記可動体は、
 開口部が設けられ、

前記基板に固定されている支持部を含み、

前記支持部は、前記Z軸方向からの平面視で、前記開口部に配置されている、慣性セン
 サー。

40

【請求項3】

請求項2において、

前記第1延出部は、

前記Z軸方向からの平面視で、前記開口部に配置され、

50

前記支持部から前記可動体の外縁に向かって延出している、慣性センサー。

【請求項 4】

請求項 3 において、

前記第 2 延出部は、前記 Z 軸方向からの平面視で、前記支持部に向かって延出している、慣性センサー。

【請求項 5】

請求項 3 において、

前記可動体は、

前記第 1 延出部の前記支持部とは反対側の先端側に連結されている第 3 延出部を含む、慣性センサー。

10

【請求項 6】

請求項 5 において、

前記第 3 延出部は、前記 X 軸と平行である、慣性センサー。

【請求項 7】

請求項 5 において、

前記第 1 延出部は、前記 X 軸と直交し、

前記第 3 延出部は、前記 X 軸と平行である、慣性センサー。

【請求項 8】

請求項 1 乃至 7 の何れか一項において、

前記固定電極は、第 1 固定電極と、第 2 固定電極と、を含み、

20

前記可動体は、前記 Z 軸方向からの平面視で、前記揺動軸を境として、

前記 Y 軸方向の一方側に配置され、前記第 1 固定電極と対向している第 1 可動電極と、

前記 Y 軸方向の他方側に配置され、前記第 2 固定電極と対向している第 2 可動電極と、

前記第 1 可動電極と前記第 2 可動電極とを連結している連結部と、

前記支持部と前記連結部とを接続している支持梁と、

を含み、

前記支持梁が、前記揺動軸である、慣性センサー。

【請求項 9】

請求項 1 乃至 8 の何れか一項に記載の慣性センサーと、

前記慣性センサーから出力された検出信号に基づいて制御を行う制御部と、

30

を含む、

慣性計測装置。

40

50